

**2022年度 北海道社会福祉学会（日本社会福祉学会北海道地域ブロック）
学会創立 60周年記念企画（研究大会・シンポジウム）**

I. 北海道社会福祉学会（日本社会福祉学会北海道ブロック） 研究大会

自由研究発表の演題を募集いたします。奮ってご応募ください。

日 時：12月10日（土）14:30-18:00

場 所：ハイフレックス開催

- ・ 対面会場：北星学園大学（住所・札幌市厚別区大谷地西 2-3-1）
- ・ 非対面：テレビオンライン会議（zoom）

II. 北海道社会福祉学会（日本社会福祉学会北海道地域ブロック）

学会創立 60周年記念企画 シンポジウム

「あらためて問う地域共生社会」

趣旨

平成 29 年地域力強化検討会の最終とりまとめでは、「我が事・丸ごと」の地域づくりを目的で取りまとめられた。具体的には市町村における包括的な支援体制の構築や、地域福祉計画、自治体・国の役割等を明らかにしている。その中で、市町村の包括的な支援体制の構築では、「我が事」の意識の醸成、「丸ごと」受け止める場の整備、包括的な相談支援体制に言及している。そのうえで社会福祉法の改正を経て、「我が事・丸ごと」や「地域共生」が具体的施策の展開へとつながっていった。

しかし、「我が事・丸ごと」や「地域共生」が単に地域住民相互の助け合いや、住民意識の醸成、共に生きる・支え合う共生というのみでは、社会福祉学の学的範疇の議論として取り込むことに違和感や抵抗感を示す者もいるであろう。そうであるならば、「我が事・丸ごと」や「地域共生」、地域共生社会というものをあらためて学的に問う必要性がある。

そこで地域包括ケアにおける「我が事・丸ごと」や「地域共生」について、多文化共生、地域福祉、障害福祉、社会福祉原論の立場から問い直すことが目的である。

○基調講演 「意識の再構築と地域共生社会の問い直し ～「脱植民地化ソーシャルワーク」から～」

Vince Okada 氏（Hawaii Pacific university）

【講師紹介】 Vince Okada 博士は、日本、ハワイ、アジア太平洋地域における多文化性・社会福祉（well-being）・社会正義に焦点をあてコミュニティ開発に深くかかわり、青少年のリーダーシップ、国際教育、先住民族の知等の普及・拡大することを目指しています。

【最終学歴】 博士（Ph.D. :（社会福祉学））ハワイ大学マノア校マイロン・B・トンブソン・ソーシャルワーク研究科

【主要論文】 「The Plight of Ainu, Indigenous People of Japan」（「アイヌの窮状 日本の先住民族」）（Journal of Indigenous Social Development）2021.

※写真は Hawaii Pacific university のホームページより。



○話題提供 「あらためて問う地域共生社会」

話題提供者

- 地域福祉分野 忍 正人 先生（日本医療大学）
- 障害福祉分野 田中 耕一郎 先生（北星学園大学）
- 福祉原論分野 伊藤 新一郎 先生（北星学園大学）

意見交換

司会 本学会 会長 大友 芳恵 先生（北海道医療大学）

日 時：12月10日（土） 14：30～18：00

- 基調講演 14：30～15：30
- 話題提供 15：45～17：15
- 意見交換 17：15～18：00

場 所：ハイブリット開催（対面会場：北星学園大学 / テレビオンライン会議（zoom））

Ⅲ. 全体タイムスケジュール

時間	プログラム
10:30-12:00	研究報告 ・個別自由発表（1 演題 30分（発表20分+質疑10分）
12:00-13:00	休憩：昼食
13:00-13:40	ワークショップ（開催予定） 詳細が決まり次第、ホームページ等でご案内いたします。 講師：Vince Okada 氏（Hawaii Pacific university）
13:50 -14:20	北海道社会福祉学会 60年のあゆみ
14:30	学会シンポジウム開催にあたって（挨拶） 会長
14:40-15:40	基調講演 「意識の再構築と地域共生社会の問い直し ～「脱植民地化ソーシャルワーク」から～」 Vince Okada 氏（Hawaii Pacific university）
15:40-15:50	休憩

15:50-18:00	「あらためて問う地域共生社会」 話題提供者 <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉分野 忍 正人 氏（日本医療大学） ・障害福祉分野 田中 耕一郎 氏（北星学園大学） ・福祉原論分野 伊藤 新一郎 氏（北星学園大学） ・司会 本学会 会長 大友 芳恵 氏（北海道医療大学） 意見交換
18:00	閉会挨拶 研究担当理事

IV. 参加手続き

ご参加ご希望の方は、下記のフォーム、若しくはQRコードより事前にお申し込みください。

<https://forms.gle/xCdp1a3cvBfRjj1SA>

申し込み期限：2022年12月7日（水）24:00

参加費：無料



- ・お申し込み後、前日までに参加者へ URL をメールにてお送りいたします。当日はそちらよりアクセスしてご参加ください。
- ・講演は Zoom ミーティングを使用します。パソコン、スマートフォン、タブレット等でご参加可能です。事前に Zoom アプリをインストールいただいておりますと参加がスムーズになります（Webブラウザからの参加も可能です）。
- ・お問い合わせは研究担当の松岡までご連絡ください。（メール：y-matsuoka@hokusei.ac.jp）
- ・オンラインシステムの関係上、状況により参加数を制限させていただく場合がございます。

V. 自由研究発表申込

自由研究発表への申込資格は、日本社会福祉学会の会員ならびに北海道社会福祉学会の B 会員であることが要件となります。

発表申込期限： 2022年12月5日（月）12:00

自由研究発表への申し込みの方は、下記のフォーム、若しくはQRコードより事前にお申し込みください。

<https://forms.gle/1n7RNk24jHRN2rU29>



○自由研究発表要旨の様式について

下記の様式を参照し要旨の作成してください。

主題：12pt ゴシック・中央揃
－副題：10.5pt ゴシック・中央揃－
○ 9pt 明朝大学 氏名 10.5pt 明朝
キーワード：9pt 明朝・中央揃

- 個別自由発表は、1 演題 30 分（発表 20 分＋質疑 10 分）です。
- 余白設定：上 25.4mm 下 25.4mm 左 19.05mm 右 19.05mm
- 文字数：46 文字 行数：38 行 A4 版 2 枚以内・横書き
- 要旨作成の際は研究目的、研究の視点および方法、倫理的配慮、研究結果、考察を踏まえ作成してください。
- Microsoft Word にて作成してください。
- 要旨原稿の提出：自由研究発表申込後、12月5日（月）までにお願いいたします。
- 提出先：北海道社会福祉学会研究担当 松岡までメールにてご提出ください。
松岡 : y-matsuoka@hokusei.ac.jp

以上